



太田川河川事務所

ゴギ通信

No. 130



工事中の別所川(1009溪流)砂防えん堤



鳥越川支川2(1004溪流)



可部東地区工食用進入路



八木4丁目地区工食用進入路

特集 広島豪雨 土砂災害から1年

平成26年8月豪雨による災害から、間もなく1年が経過しようとしています。ここに改めて、お亡くなりになられた方々に深く哀悼の意を表するとともに、被災者の皆様によりお見舞い申し上げます。

太田川河川事務所では昨年の広島豪雨土砂災害に対し、広島市安佐北区及び安佐南区において、既に実施していた2溪流に加え新たに28溪流*において砂防えん堤等の緊急事業に着手しています。

砂防えん堤完成までの当面の土砂災害対策として行っていました強靱ワイヤーネット工につきましては、地域の皆様のご協力のもと、7月11日に完成しました。

一方、砂防えん堤の本体工事につきましては、4月21日に別所川(1009溪流)の工事に着手したほか、これまでに16溪流において工事に着手しています(7月22日現在)。改めてご協力いただいております皆様へ感謝申し上げます。

砂防えん堤の早期完成に向け、我々も全力で取り組んでまいります。この地域に砂防えん堤が完成するまでには、およそ5年程度の期間を見込んでおります。工事の進捗状況につきましては、現場見学会や太田川河川事務所ホームページにおいて随時情報発信させていただきますが、工事期間中は相当数の工事用車両が住宅周辺を通行することになります。ご迷惑をおかけしますが、事業の趣旨をご理解頂き、何卒ご協力下さいますようお願い申し上げます。

* 災害後より実施していた24溪流に、平成27年度からは新たに4溪流加わりました。

太田川放水路通水50周年

～太田川放水路の歴史と役割～



水辺のオープンカフェ



観水テラス



水辺のコンサート

↓前ページからの続き

放水路事業と時期を同じくして被爆からの復興も進められ、「平和記念公園」、「平和大通り」、「河岸緑地」などが整備され、今日では、水と緑が形成される「水の都」となりました。これらの水辺環境の実現は、市内派川の治水安全度を飛躍的に向上させた太田川放水路の整備が

果たした役割が非常に大きく、近年では、この河岸緑地を活用した「水辺のオープンカフェ」や観水テラスを利用した「水辺のコンサート」、「雁木タクシー」などに活用され、市民や観光客に憩いと交流の場として利用され貴重な都市資源となっています。

大雨が降りそうな時は...

テレビ、ラジオやインターネットの情報をこまめにチェックし、早めに行動しよう!

パソコンや携帯を使用してさらに詳しい情報を



広島防災 WEB

検索

クリック!!

Mr. エンテ

気象や雨量の状況をチェック



広島県防災Web

県内の気象や雨量など総合的な防災情報をインターネットで提供しています。

<http://www.bousai.pref.hiroshima.jp> (パソコン)

<http://www.bousai.pref.hiroshima.jp/i/> (携帯電話)

E-mailで情報をチェック



防災情報メール通知サービス

E-Mailで、気象や雨量、土砂災害警戒情報をチェックできます。

<http://www.bousai-mail.pref.hiroshima.lg.jp> (パソコン・携帯電話共通)

